

「出題の意図」

選抜区分	2024年度（選抜区分：一般選抜 後期日程） 外国語学部 国際関係学科（科目名：面接）
出題の意図 （評価のポイント）	<p>（面接の意図・ねらい）</p> <p>後期日程の面接は、国際関係に対する問題意識と学習意欲を受験生自身の言葉で語ってもらいながら、自分の考えを口頭で論理的に表現する能力をはかるとともに、円滑なコミュニケーションを遂行する力を有しているかを確認するものであった。面接官の問いかけに受験生が過不足なく応答しているか、大学での学習に向けた準備をどのように進めているかを中心に、受験生の力を判断した。</p> <p>（評価のポイント）</p> <p>受験生の多くは事前に国際関係学科のホームページや大学のパンフレットから情報を集め、周到に準備して面接に臨んだようである。そのため、面接ではそれらの情報を駆使して、本学科で何を学びたいのか、本学での4年間をどう過ごしたいのかについて、しっかりとした主張をする受験生が多かった。しかしながら、なかには事前に準備してきた模範解答を丸暗記していたせいか、発言に詰まるとやり直しをする受験生もいた。また、質問に対して簡潔に答えるあまり、自己アピールが足りない印象を受ける受験生もいた。面接では、短い時間でいかに自己アピールできるかが肝要である。しっかりとその場で自己主張ができ、コミュニケーション力を示す必要がある。本学科に入って学ぶ意欲、論理的に自己の考えを述べる力、そしてコミュニケーション力が評価されるものと考えていただきたい。</p>